

## インテックホールディングス

## カタレ富山がJ2に昇格、3月J2デビューを果たす

㈱カタレ富山(代表取締役社長 中尾哲雄 インテックホールディングス会長)が運営するサッカーチーム「カタレ富山」は、昨シーズンJFL(日本フットボールリーグ)で3位となり、J2(Jリーグディビジョン2)に昇格した。

3月7日にはJ2デビューを果たし、アウェイでアビスパ福岡と開幕戦を戦い、0-0で引き分けた。この試合は、試合開始日時が他会場より早く、今季J2の記念すべき開幕カードとなった。J2は18チームが12月まで各51試合を戦う。15日は富山での開幕戦が行われ、下旬には昨年J1の東京ヴェルディ戦やキングカズこと三浦知良選手の所属する横浜FC戦(いずれもアウェイ)と、注目カードが続く。カタレ富山の挑戦に期待したい。



アウェイ 対戦相手チームのホームグラウンド

J2昇格の記者会見をする中尾社長(左から2人目)

## インテック

## インテックシステム研究所

富山インターネット市民塾  
10周年記念シンポジウムを開催

富山インターネット市民塾は1月10日、運用開始10周年を記念して記念シンポジウムを開催した。インターネット市民塾は、インテックがICT技術を活用した教育事業として中央教育審議会などを通して提唱してきたもの。昨年、インテックシステム研究所に「社会システム研究室」を設置し、各方面の専門家と協力して内閣官房IT担当室(政府のIT戦略本部事務局)との情報化研究を進め、総務省地域情報プラットフォーム実証事業にも参加している。(インターネット市民塾についてはP3~7を参照)

シンポジウムには、富山県内の教育・情報化推進者、徳島、熊本、和歌山、高知ほか全国のインターネット市民塾・地域情報化関係者、利用者など、200名を超える参加があった。佐藤友美子氏(サントリー

文化財団上席研究フェロー)による基調講演、坪田知己氏(日経メディアラボ所長)による課題提起、利用者ほかによるトークセッション「今、なぜインターネット市民塾か」を通じて、経済社会の混迷の中でインターネット市民塾の果たす役割に一層大きな期待が寄せられた。



## インテック

日本HPとインテックが  
製品の拡販において協業

インテックと日本ヒューレット・パカード(以下日本HP)は、インテックが提供するアイデンティティ管理(以下IDM)ソリューションと日本HPが提供するシングルサインオンソリューション(以下SSO)の販売において1月から協業を開始した。

両社がお互いに製品を提供することで、IT全般統制への対応を強化する一貫したセキュリティソリューションが提供できるようになる。正しく管理されたID情報に基づきSSOでシステムへのアクセスを制御することによりセキュリティの低下を防止し、さまざまなリスクを軽減する。また、IDMによるID情報の一元管理とSSOによるアクセスの統合管理によって、システム管理コストを低減し、管理者の運用負荷の軽減や利用者の利便性の向上を実現する。

お問い合わせ先:  
インテック N&O事業推進部 TEL:(045)451-2398

## フレックス

## アイデック

## アイデックがインテックグループの一員に

フレックスは2008年11月14日、首都圏における業容拡大、人材確保を図ることを目的に、アイデックの株式85%を取得し、同社を子会社化した。

アイデックは、オンラインネットワークサービス、ソフトウェア開発を柱に、情報ビジネスのスペシャリストとして使う人の立場を優先したフレキシブルなシステムを提供するだけでなく、コンピュータを人間の創造性を支える「マインドウェア」ととらえ、コンピュータを使う人間そのものに興味をしめすことを企業ポリシーとしている。

会社概要  
商号: アイデック株式会社  
本社: 東京都台東区東1-10-6  
代表者: 代表取締役社長 落合 弘  
資本金: 20百万円  
従業員数: 34名  
TEL: 03-3836-5401  
URL: http://www.aidec.co.jp/

## インテック

## 次世代の通信サービスを拓く地域 WiMAX 運営会社を設立

インテックは3月、ジュピターテレコム、ブロードバンドタワー、ワイドリサーチの3社とともに、地域WiMAX技術(P8~P11参照)を利用した通信サービス運営会社「オープンワイヤレスプラットフォーム合同会社(以下、LLC)」を設立した。LLCのある神奈川県藤沢市を中心にしてWiMAX通信環境の運用開始に向けての準備に着手し、無線事業の有用なビジネスモデルの開発を行うとともに、WiMAXの技術情報や運用ノウハウの取得を目指す。

また、これを機に慶應義塾大学SFC研究所は、「アンワイヤード研究コンソーシアム」を新たに設立。LLCと研究開発、実証実験を行うとともに、国内外の企業を始めとした産学官の共同研究メンバーの参画を募り、地域WiMAXを推進する。

お問い合わせ先:インテック 技術本部 TEL:(045)451-2340

新会社概要	
名称:	オープンワイヤレスプラットフォーム合同会社(LLC)
資本金:	93百万円
出資構成:	インテック 30百万円(32.3%) ジュピターテレコム 30百万円(32.3%) ブロードバンドタワー 30百万円(32.3%) ワイドリサーチ 3百万円(3.2%)
登記場所:	神奈川県藤沢市
技術顧問:	慶應義塾大学 環境情報学部 教授 中村 修

## クラウド・スコープ・テクノロジーズ

## PATHMANAGERに業界初の2つの機能追加

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、MPLSネットワークの管理・監視システムで国内最大シェアを持つ「PATHMANAGER」に業界初の2つの機能を追加した。

ネットワーク設計シミュレーション機能(2008年11月)

PseudeWire監視機能(2009年2月)

PATHMANAGERは、ネットワーク上を『見える化』する。ネットワークの設計時やネットワーク上での障害発生時に必要な操作を、視覚的に分かりやすく表示し、直感的な操作を可能にする。オペレーションミス、判断ミスを極力少なくし、ネットワークサービスの高品質を保ち、運用コストを削減する。

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、ネットワークの安定運用をサポートするリーディングカンパニーとして、今後も新たな機能の開発・提供を順次行っていく。

MPLS(Multi Protocol Label Switching)データ転送を高速・大容量化するために開発されたラベルを用いてパケットを転送する通信方式

お問い合わせ先:クラウド・スコープ・テクノロジーズ 営業部 TEL:(03)3403-8321

## ITホールディングス

ITホールディングス  
第3四半期決算を発表

ITホールディングスの第1期(平成21年3月期)第3四半期連結業績(平成20年4月1日~12月31日)は、2月10日に発表され、売上高2,329億8,500万円、営業利益116億1,300万円、経常利益117億9,400万円、四半期純利益43億5,300万円となった。なお、多くの企業が通期業績予想を下方修正する中、平成21年3月期の連結業績見通しに変更はない。

## ネクスウェイ

多店舗運営支援ポータル  
「店舗matic」が  
さらに便利に進化

「店舗matic」は、ネクスウェイが提供・販売を行う多店舗運営支援ポータルであり、ドリーム・アーツ(東京都渋谷区)が開発・運用している。柔軟な通達機能、情報回収・集計機能、情報ポータル機能、カレンダー機能、文書管理機能などを備え、流通・小売業、飲食業をはじめとした多店舗ビジネスにおける、本部と店舗間のコミュニケーションを効率化する。お客さまの要望に応え、約3カ月で下記を含む21もの機能追加を行っている。

FAXリマインド機能  
(2008年10月)  
本部からの指示を読んでいない店舗に、閲覧を促すメッセージをワンタッチでFAX配信可能に。  
大規模小売店向けフィルタリング機能  
(2008年11月)  
大規模小売店で本部から届く多くの情報の中から、店舗担当者が自分に関する情報だけを容易に抽出。  
報告・申請アプリケーション作成機能  
(2009年1月)  
店舗から本部に向けた各種報告・申請業務や、店舗間のコミュニケーションを実現するアプリケーションを作成可能に。

「店舗matic」は、これからも、ご利用いただいているお客さまの声を反映し、より使いやすく進化を続けていく。

お問い合わせ先:ネクスウェイ 企画部(広報担当)  
TEL:(03)4541-1602

(単位:百万円)		
	第3四半期 業績	通期業績 予想
売上高	232,985	340,000
営業利益	11,613	22,000
経常利益	11,794	22,000
当期純利益	4,353	11,000

## キーポート・ソリューションズ

## 「トレダビ」リニューアル、新サービス開始

キーポート・ソリューションズが運営する金融情報サイトK-ZONEは、投資シミュレーションゲーム「トレーディングダービー(トレダビ)」を1月、従来の現物取引に加え信用取引にも対応し、全面リニューアルした。

トレダビは、セミリアルタイム(20分遅れ)の時価情報に基づき、用意された1千万円の仮想マネーでさまざまな株を売買し、そのパフォーマンスを競う。時々刻々変動する実際の株価に連動しているため、デイトレーダー的な投資のみならず、幅広いインターネット・トレードの学習・疑似体験ができる。1999年6月にスタートし、現在では第38回(1/5~3/31)を迎えた、投資シミュレーションの老舗サイト。毎回成績上位者には豪華賞品がプレゼントされる。



<http://www.k-zone.co.jp/td/>

2月からは、トレダビのランキング上位者の保有銘柄と売買銘柄を閲覧できるサービス「チェス・何・しはったん?」をスタートした。K-ZONEは今後も、さまざまな金融商品取引のシミュレーションを提供し、金融業界の活性化につながるようなサービスを展開していく。

お問い合わせ先:  
キーポート・ソリューションズ ケイソノオペレーションチーム  
TEL:(03)3523-8639

## インテック

## コールセンター構築パッケージ「CTI-One」最新バージョン発売開始

インテックは1月から、コールセンター構築パッケージ「CTI-One」の最新バージョン V5.0 を販売開始した。「CTI-One」は、コールセンターに必要な機能を備えたシステムを低価格で構築できるのが特長。今回、旧バージョンでは対応できなかった100席規模のコールセンターにも対応可能となった。

また、発売に先駆けて2008年11月13日、14日の2日間、業界最大のフェア「コールセンター/CRMデモ&コンファレンス2008」に出展した。

価格 2,000,000円~(10席のコールセンター)

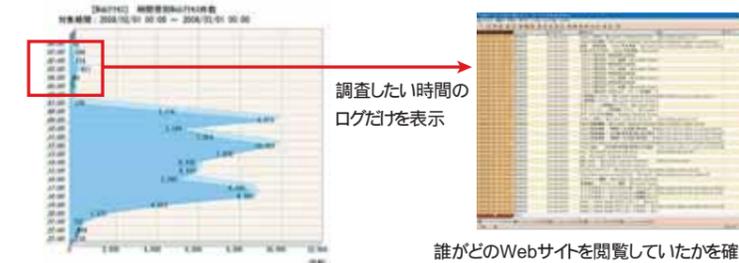
お問い合わせ先:  
インテック コミュニケーションシステム事業推進部  
TEL:(045)451-2394

## インテック

## 快速サーチャーLogRevi(ログレビ)に、ログのグラフ表示機能追加

インテックは、統合ログ管理製品「快速サーチャーLogRevi(ログレビ)」に集約したログを可視化し、グラフや表などの分かりやすい形で統計情報を表示する「レビューステーション」機能を追加し、1月から提供を開始した。

例)深夜の時間帯にWebサイトを閲覧した形跡を発見した場合



誰がどのWebサイトを閲覧していたかを確認

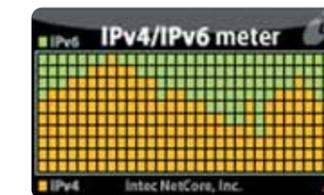
また、1月28日(東京)、2月10日(大阪)には、エムオーテックス社との共催で、レビューステーション機能を紹介するセミナーを開催した。来場いただいたお客さまからは、「これなら私でも使えそうだ」「簡単にレポート業務ができそうだ」「自分のログを取り込んで試してみたい」などの評価をいただき、盛況に終わった。

お問い合わせ先:インテック ビジネスプロダクトソリューション事業部 TEL:(03)6665-5140

## インテック・ネットコア

## IPv4/IPv6のアクセス比率を可視化するプロダクトを開発、無償提供

インテック・ネットコアは、ウェブページにアクセスするユーザのIPv4/IPv6のアクセス比率を解析・可視化するプロダクト「IPv4/IPv6meter」を開発した。このプロダクトを調査対象のウェブページに設置することにより、該当ページにアクセスするユーザのIPv4とIPv6のアクセス比率を容易に解析・可視化することができる。



オレンジ色がIPv4、緑色がIPv6のアクセス比率  
<http://inetcore.com/project/46meter/>

2011年にはIPv4アドレスの在庫がなくなり、新規のアドレス割り当てが停止するという「IPv4アドレス枯渇問題」が起こると予想される。適切な対応を取らない限り新規サーバ構築ができなくなるにもかかわらず、対応があまり進んでいないのが現状である。

インテック・ネットコアでは、この問題を乗り切るため、「現在のインターネットの状況を正確に把握し、行動を起こしていく必要がある」とし、「IPv4/IPv6meter」の他にも「IPv4枯渇時計」などインターネットに関わる統計情報を把握するためのツールを開発し、無償で提供している。

お問い合わせ先:  
インテック ネットコア  
ネットワークプラットフォーム研究開発グループ  
TEL:(03)6665-5069



## フラッシュニュース

インテック  
創立45年を迎える  
(1月11日)

インテック  
日本臨床細胞学会より、第47回日本臨床細胞学会秋期大会の成果に多大な貢献をしたとして感謝状  
(2月6日)

インテック  
三菱東京UFJ銀行より「システム本格統合 Day2 プロジェクト」に多大な貢献をしたとして感謝状  
(2月19日)

インテック  
家庭教育を考える「インテックグループファミリーフォーラム」を実施  
(2月21日) 詳細は次号にて

インテック、ネクスウェイ  
リテールテックJAPAN2009に、3カテゴリー8製品を出展  
(3月3日~6日)

## インテック

Primavera Excellence Awards受賞  
日本初、アジア系企業初の快挙

インテック 鈴木執行役員常務  
(11月ラスベガスでの授賞式にて)

インテックは、Primavera社から「Primavera Excellence Awards (最優秀ユーザ賞)」を受賞した。この「Primavera Excellence Awards」は、プロジェクトポートフォリオマネジメント分野における世界トップベンダーであるPrimavera社による表彰にあたり、プロジェクト、プログラム、ポートフォリオ管理において最も優れた結果を成し遂げたユーザへ贈られる。過去にヒューレットパカード(米)、モトローラ(米)、シーメンス(独)などが受賞している。

インテックは、Primaveraのプロジェクトマネジメントシステムを2年前から全社に導入し、システムの活用を通じて、組織全体としてのプロジェクト可視化を実現した。経営陣や部門長、プロジェクトマネージャは必要な時にプロジェクト情報を得ることができ、信頼性の高いデータを基にスケジュールやリソースが予測できることで、失敗プロジェクトの防止や事前の対策が可能となっている。

プロジェクトポートフォリオマネジメント  
複数の個別プロジェクトの状況や特性(進捗、リソース、将来性、技術リスクなど)を横断的に把握することで、プロジェクトの選定・着手順序・追加投資・改善・中止などの意思決定を行うこと  
お問い合わせ先:インテック 技術本部 TEL:(045)451-2340

## インテック・ネットコア

## 次世代情報交換プラットフォーム技術の開発

インテック・ネットコアは、複数の組織間で機密情報を安全、確実に送達する、送信者主導の次世代情報交換プラットフォーム技術(プロトタイプ版)を開発した。

現在主流となっているe-mailは、簡単に多くの人と情報交換できる反面、一度送信してしまったメッセージを取り消すことができず、宛先の指定ミスによる情報漏えいや、内容の誤りによる信用失墜のリスクがある。今回開発したプラットフォーム技術は、送信メッセージをサーバに留保し、メッセージ作成情報だけを通知することで、e-mailのもつ問題点を解決する。

メッセージ送信後に気づいたミスの修正が可能  
送信側で到達状況・閲覧状況の確認や、閲覧範囲を制御することが可能  
受信側の制限を受けずに大容量ファイルの送信が可能

インテック・ネットコアでは、2009年度中に試験導入するユーザを募集し、製品化に向けた検証を実施する。

お問い合わせ先:  
インテック ネットコア ネットワークプラットフォーム研究開発グループ TEL:(03)6665-5069